

和光新校基本計画検討資料

第2期実施方策における新校の基本方針
<ul style="list-style-type: none"> ・国際感覚や語学力を身に付け、国内外で活躍できるグローバル人材の育成を目指します。 ・自国の伝統や文化を理解し、異なる文化や価値観を尊重する態度を育成するとともに、SDGsなどの地球規模の課題の探究活動に取り組みます。 ・国際に関する学科の中心的役割を担う高校を目指します。

基本理念

(1) 目指す学校

和光国際高校案	和光高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
①国際社会で必要とされるグローバルリーダーの育成	<p>①国際感覚や語学力を身に付け、国内外で活躍できるグローバル人材の育成</p> <p>【事務局補足】</p> <p>・目指す学校像 「創造する力」、「協働」</p>	<p>・新校基本方針との関連 「国際に関する学科の中心的役割を担う学校」</p>	<p>ア 地球規模の課題に対する探究的な学びを通して、「共生力」・「教養力」・「人間力」を育む学校</p> <p>イ 自国の伝統、文化を理解するとともに、国際感覚を身に付け、国際社会で必要とされるグローバルリーダーを育成する学校</p> <p>ウ これまで培ってきた教育活動を継承しながら、県内における国際教育を牽引し、地域や海外との連携を通して質の高い学びを実践する学校</p>

(2) 育てたい生徒像

和光国際高校案	和光高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
<p>①共生力：多文化との共生、自然との共生することのできる生徒</p> <p>②教養力：単なる知識ではなく、その知識や経験に裏付けられた自分自身の「ものの見方や考え方」を持ち行動できる生徒</p> <p>③人間力：社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくことのできる生徒</p>	<p>①自主的精神に充ちた心身ともに健康で、国際化社会で活躍できる個性豊かな人間</p> <p>【事務局補足】</p> <p>・目指す生徒の姿</p> <p>1 明るく元気な生徒</p> <p>2 心身ともに健康で人間性豊かな生徒</p> <p>3 日々学び続ける生徒</p>	<p>・新校基本方針との関連</p> <p>「自国の伝統や文化を理解し、異なる文化や価値観を尊重する態度を育成する」</p>	<p>ア 自国や郷土への理解を深め、異なる文化や価値観を尊重し、共生することのできる生徒</p> <p>イ 豊かな国際感覚と語学力を備え、知識や経験に裏付けられた自分自身の「ものの見方や考え方」を持ち、主体的に行動できる生徒</p> <p>ウ 社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくことのできる生徒</p> <p>エ 豊かな人間性を備えた心身ともに健康で、地域や国際社会の課題解決に貢献できる生徒</p>

教育活動等の基本方針とその具現化

(1) 基本姿勢

和光国際高校案	和光高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
<p>－“Read, See & Think.” (RST)－</p> <p>「読んで、見て、そして考えよ。」</p> <p>ア 心身を鍛え、目の前の困難を乗り越える力を育成する。</p> <p>イ 学習と学校行事・部活動を両立する力を育成する。</p> <p>ウ 高い希望を持ち、進路を実現しようとする意欲を育成する。</p> <p>エ 体得した知識や技能を社会で生かせる実践力を育成する。</p> <p>オ 意思疎通だけではなく、異文化の人々と相互理解できるコミュニケーション力を育成する。</p> <p>カ 自国の伝統や文化を理解し異文化を尊重できる力を育成する。</p>	<p>・自主的精神に充ちた心身の健康、国際化社会で活躍できる個性豊かな人間性、国際感覚、語学力を身に付けさせる。そのため、学習内容及び教育環境の充実を図る。特に、基礎的・基本的事項の知識・理解の習得を徹底するとともに、主体的・対話的で深い学びの視点から、地球規模の課題について協働による探究的な学びを実践する。</p>	<p>・学習指導要領との関連(育成を目指す資質・能力の三つの柱)</p>	<p>国際社会で活躍できる豊かな人間性や国際感覚、語学力を身に付けさせ、高い目標を持って困難を乗り越えようとする態度や実践力を養うために、主体的・対話的で深い学びの視点から学習内容の充実を図るとともに、地域との協働による探究的な学びを実践する。</p>

(2) 教科指導

	和光国際高校案	和光高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
基本方針	<p>①外国語教育を重視し、国際理解教育を推進する。</p> <p>②ICT環境を有効に活用し、情報活用能力を向上させる。</p> <p>③生徒の個性に応じた多様な選択科目を提供する。</p> <p>④困難を乗り越える思考力・体力、変化に対応できる主体性と自己責任力を育成する。</p> <p>⑤SDGsなどの地球規模の課題の探究活動に取り組む。</p>	<p>①個々の学力を活用・発展させ、更なる向上を図るとともに、主体的に学習に取り組む態度を育み、個の力をしっかりと伸ばす。</p> <p>【事務局補足】 ・重点目標 「意欲を育て、ひとりひとりの力をしっかりと伸ばす学習指導」</p>	<p>・新校基本方針との関連「SDGsなどの地球規模の課題の探究活動」</p> <p>・学習指導要領との関連(カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学び等)</p> <p>・遠隔授業の検討</p> <p>・海外との連携</p>	<p>ア 外国語教育を重視し、教科横断的な学び、国際理解教育を推進する。</p> <p>イ 生徒の個性に応じた多様な選択科目を提供するとともに、教育活動の中にICT活用を位置づけることによって生徒の個々の学力の更なる向上を図る。</p> <p>ウ 地球規模の課題の探究活動を通して、主体的に学習に取り組む態度を育む。</p>
具現化	<p>・各教科の教育目標を記載(※骨子案作成に当たって検討材料としているが、ここでは紙面の都合上省略)</p>	<p>②教科・科目の特性、生徒の進路希望等に応じ、少人数指導や演習を実施する。</p> <p>③外国語だけでない国際理解科目(学校設定科目含む)の設置。</p> <p>④「(学)国際関係」等で、自ら国際社会の課題を設定し、調査・研究し、英語で論文作成・発表。</p>	<p>・探究活動(「総合的な探究の時間」の充実)</p> <p>・教科横断的な学び</p> <p>・学習評価の在り方</p>	<p>ア 教科・科目の特性や進路希望に応じて、生徒一人一人に寄り添った丁寧な学習指導を行う。</p> <p>イ 国際理解教育の視点で各教科の横断的な学びを推進するとともに、ICTを用いた海外との交流等を積極的に取り入れる。</p> <p>ウ 英語圏に限らない国際理解科目等(学校設定科目含む)を設置し、一部の科目は学科を横断して選択できるようにする。</p> <p>エ 学校全体で学習評価の在り方を検討し、生徒の学習改善や教員の授業力向上につなげる。</p> <p>オ 各教科がICTを積極的に活用するとともに、探究活動を推進し、主体的・対話的で深い学びの実践を図る。</p> <p>カ 国際人に必要な資質・能力を育成するため、大学や企業等と連携した体験活動等を行う。</p>

(3) 生徒指導

	和光国際高校案	和光高校案	論点	新校基本計画骨子（案）
基本方針	<p>①国際人として相応しいマナーを身に付けさせる。</p> <p>②基本的な生活習慣を身に付けさせ、自己を確立させる。</p> <p>③安全に対する意識を高め、事故防止に努めさせる。</p> <p>④インターネットを自己及び他者に対して安全に使うことができるようにさせる。</p> <p>⑤他者の立場を理解し尊重する態度を育てる。</p>	<p>①我が国と他国の伝統・文化を理解し、尊重する態度を身に付けるとともに、広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神（豊かな国際感覚）を養う。</p> <p>【事務局補足】</p> <p>・重点目標</p> <p>「ルールと時間を守り、思いやる心と社会性を養う生活指導」</p>	<p>・新校基本方針との関連</p> <p>「異なる文化や価値観を尊重する態度を育成する」</p> <p>・生徒指導提要との関連</p>	<p>ア 基本的な生活習慣を身に付けさせ、自己を確立させる。</p> <p>イ 他者の立場を理解し尊重する態度を育てる。</p> <p>ウ 国際人として相応しいマナーを身に付けさせる。</p>
具現化	<p>⑥全教職員共通理解のもと挨拶、言葉遣い、身だしなみの指導を行う。</p> <p>⑦生活委員による挨拶運動を実施する。</p> <p>⑧登校時指導を定期的実施する。</p> <p>⑨海外修学旅行に向けて自国と他国との文化の違いについて学ばせる。</p> <p>⑩留学生との交流を多く経験させる。</p> <p>⑪交通安全等に対しての講習、外部講師を招いての講演会を実施する。</p> <p>⑫授業、講習をとおして学ばせる。学年集会・全校集会で意識を涵養する。</p> <p>⑬代議員を中心とした生徒総会に向けての議論等、クラスで話し合う機会を多く設ける。</p>	<p>②充実した国際理解科目や第2外国語の学習、海外の学校などと連携した遠隔教育での学習、国際社会の課題を設定し調査・研究、英語で論文作成・発表等の活動を通し、主体性や積極性を育成するとともに、自己肯定感や自己有用感を高め、個性豊かな人間性を育む。</p>	<p>・教育相談への言及</p>	<p>ア 全職員の共通理解の基に、挨拶の励行等の指導を行う。</p> <p>イ 部活動や学校行事に対する主体的な取組を通して、自己肯定感や自己有用感を高める。</p> <p>ウ 生徒総会に向けての議論等、クラスで話し合う機会を多く設け、生徒同士による自発的な行動を促す。</p> <p>エ 地域との関わりや留学生との交流等を通して、他者を尊重する態度を涵養する。</p> <p>オ 教職員一人一人がカウンセリングマインドを身に付け、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と連携するなど、組織的な教育相談体制を確立する。</p> <p>カ 人権課題に対する正しい理解を深め、学校の教育活動全体を通じて人間尊重の精神を涵養する。</p>

(4) 進路指導

	和光国際高校案	和光高校案	論点	新校基本計画骨子(案)
基本方針	<p>①生徒が卒業後の進路を模索し実現する過程を支援し、将来を見通した進路選択を促す。</p> <p>②国際社会に生きる人間としての教養、人生観・職業観を育成し、個性に応じた進路指導を徹底する。</p> <p>③学年・教科・分掌・部活動との連携を取りながら、生徒の可能性を伸ばし、進路実現が図れるように支援をしていく。</p> <p>④授業改善と自学自習の充実により生徒の学力向上を図り、生徒の第一志望の進路を実現する。</p> <p>⑤進路に関する情報を職員に提供し、学校全体で生徒の進路実現を支援できるように努める。</p>	<p>①難関私立大学・国公立大学進学を目指す生徒の希望に応える進学校として、質・量ともに充実した授業を展開し、思考力・判断力等の育成に繋げる。</p> <p>【事務局補足】 ・重点目標 「自分自身を正しく理解させ、自尊・自信を築く進路指導」</p>	<p>・新校基本方針との関連 「国内外で活躍できるグローバル人材の育成」</p>	<p>ア 生徒が卒業後の進路を模索し実現する過程を支援し、将来を見通した進路選択を促す。</p> <p>イ 国際社会に生きる人間としての教養、人生観・職業観を育成し、個に応じた進路指導を徹底する。</p> <p>ウ 授業改善によって生徒の学力向上を図るとともに、学年・教科・分掌・部活動が連携して生徒の進路実現を支援していく。</p>
具現化	<p>⑥進路ガイダンスを充実させ、十分な情報提供と指導を実施する。</p> <p>⑦外部機関が提供するツールを活用し、主体的な進路選択や学問理解を促進する。</p> <p>⑧総合的な探究の時間を中心に大学や学部機関等と連携した進路行事を行う。</p> <p>⑨面談をとおして個々に応じた指導を行う。</p> <p>⑩海外進学を含めた多様な進路に対応できる指導体制を確立する。</p> <p>⑪部活動を効率的に実施し、家庭学習時間を確保する。</p> <p>⑫授業評価アンケートや授業公開をとおして授業改善に活かす。</p> <p>⑬大学入試に対応するための補習(通年、長期休業中)を充実させる。</p> <p>⑭職員会議や外部講師を招いた研修会などを通して情報を提供する。</p>	<p>②授業時間数等を工夫し、学習量の拡大を図るとともに、生徒の主体的な学習を支援する指導体制を構築する。</p> <p>③普通科では3年次より文系・理系等に分かれての学習指導。難関私立大学や国公立大進学も見据えたバランスの取れた教育課程を編成する。</p>	<p>・キャリア教育 ・高大連携 ・海外との連携 ・探究活動(「総合的な探究の時間」の充実)</p>	<p>ア 進路ガイダンスを充実させ、十分な情報提供と指導を実施するとともに、面談を通して個々に応じた指導を行う。</p> <p>イ 大学や学部機関等と連携した取組や外部機関が提供するツールを活用し、主体的な進路選択や学問理解を促進する。</p> <p>ウ 海外進学を含めた多様な進路に対応できる指導体制を確立する。</p> <p>エ 授業評価アンケートや授業公開を通して授業改善に生かし、生徒の学力向上を図る。</p> <p>オ 大学入試に対応するための学習支援を充実させる。</p>

(5) 生徒募集

	和光国際高校案	和光高校案	論点	新校基本計画骨子（案）
基本方針	①新校の概要の周知徹底	①新たな高校の基本方針と具現化に向けた取組を周知する。	・周知以外の取組	ア 小・中学生や保護者が関心を持てるよう、県内における国際教育を牽引し、地域や海外との連携を通して質の高い学びを実践する学校としての魅力を積極的に広報する。 イ 学校の特色や育てたい生徒像を踏まえ、目的意識が高く意欲のある生徒の募集に努める。 ウ 広範囲の地域に向けた募集活動を行う。
具現化	②本校での学校説明会で丁寧に説明する。 ③外部説明会に積極的に参加し周知徹底を図る。	②新校案内冊子の作成と説明会の実施。	・ホームページの活用やパブリシティ活動、SNSを含めたメディア展開等の工夫	ア 学校が持つ教育コンテンツや生徒及び卒業生の活躍を積極的に発信し、広く学校の魅力を伝える。 イ 近隣の小・中学校と連携し、学校の特色を生かした取組を行う中で、小・中学生との交流を図る。 ウ 新校案内冊子の作成や外部説明会への積極的な参加を通して、新校の周知徹底を図る。 エ ホームページの活用やパブリシティ活動、SNSを含めたメディア展開等の工夫を図る。 オ 入学者選抜において、学校の特色や育てたい生徒像を踏まえた選抜基準を設ける。

(6) その他

・地域連携	ア 地域と関わりながら共生に向けた学びの機会を設け、他者を尊重する態度を養う。 イ 指導の充実を目的とした様々な研修を実施して、教職員の資質・能力の向上を図る。
-------	---